

# 令和4年度 第5回 諏訪区地域協議会 次 第

日時：令和4年10月25日(火) 午後7時から  
会場：諏訪地区公民館 集会室

延べ1時間30分

## 1 開 会

【5分】

## 2 議 題

### (1) 自主的審議事項

#### ○ 二貫寺の森の活用について

1) 今後の進め方について

【15分】

2) グループワーク

【50分】

3) 今後の自主的審議について

【15分】

### (2) その他

## 3 そ の 他

### (1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 … 令和4年\_\_月\_\_日( ) 午後 時から
- 会場 … 諏訪地区公民館 集会室
- 内容 …

### (2) その他

## 4 閉 会

令和 4 年 10 月 19 日

上越市長 中川 幹太 様

諏訪区地域協議会

会長 川上 久雄

二貫寺の森の活用について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので、提出いたします。

## 記

二貫寺の森は、平地において山地性の植物が生育する、植物の分布上たいへん貴重な場所で、市が設置する“地域の特性に応じた森林の保全及び形成に資する「市民の森」”です。また、多くの生物が生息する水辺や草地、野鳥の休憩地ともなる森林など、多様な環境と豊かな自然が残っていることから、市の「自然環境保全地域」に指定されています。

この森は、かつては近隣住民に畑作地として利用される中で、子どもたちが遊びを通して豊かな自然に触れることができる、思い出深い場所でありました。現在も、市の自然観察会等が開催されているほか、地域の団体による子どもたちの環境学習の場として利用されています。

しかしながら、現状では、園路や広場はしばしば草木に覆われ、広場に至る主要経路は降雨でぬかるみになる等、散策に適さない状況があります。このまま森全体の藪化が進めば、植生が単純化し、野鳥が見られなくなったり、タヌキなどの害獣の住み家となる恐れもあります。

このような現状に鑑み、諏訪区地域協議会では、地域資源を活かした地域の活力向上に向け、「二貫寺の森の活用」について、検討を行ってまいりました。

当協議会としては、二貫寺の森が、適切な維持管理のもと広く認知され、地域内外の人に多く利用されることが、諏訪地区の評価を高め、ひいては関係人口の増加など、地域の活力向上の一助になるものと考えております。

そのためには、まずは施設が良好な状態で維持されることが何よりも必要であります。

また、この地域で暮らす私たち住民が、森の活用に理解を深めていくことも課題であり、今後は、地域の関係団体と協力しながら、森の活用に向けた機運醸成に取り組むたいと考えております。

つきましては、森の利用者増加に向け、次の項目について検討されることを提案します。

### 1 園路等の維持管理について

園路が草木に覆われ、長靴でなければ進入できない状態では、せっかく森を訪れても散策できないばかりか、管理が不十分な施設として、森に対して悪い印象を与えかねません。

二貫寺の森の活用に向け、まず前提となるのは、森が散策できる状態に維持されていることと考えます。

具体的には年 2～4 回の園路の除草作業は、実施回数を増やすよう提案します。

また、降雨により園路にぬかるみが生じることから、特に、研修棟と広場を結ぶ園路については、現在行われているウッドチップに替えて碎石を敷き均すなど、効果的な対策を検討されるようお願いいたします。

### 2 施設入口の看板の整備等について

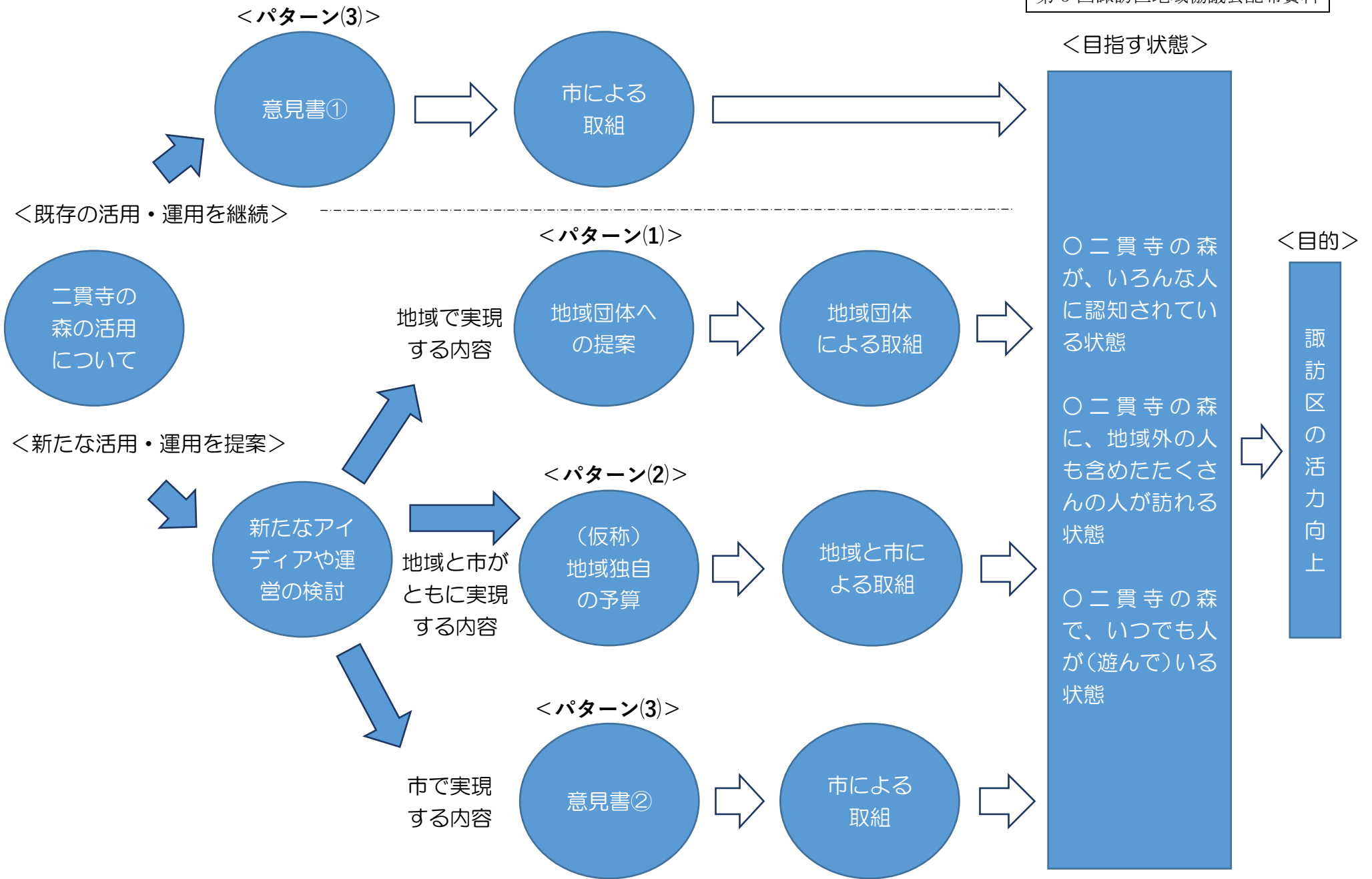
アクセス道路となる県道 77 号線（上越頸城大渦線）沿いの入口に看板が設置されていますが、看板そのものが経年劣化してきていることや、周囲の草木が繁茂しているため、見えにくい状況であります。

二貫寺の森の活用には維持管理と同様に、森の存在を多くの人に認知してもらうことが重要なことだと考えます。

具体的には、県道を通る多くの方に、「自然環境保全地域」としての認知が行き届くよう、施設入口の看板の整備はもとより、周辺除草作業等の工夫をご検討ください。

なお、新たな森の利用方法を創出し、集客効果を高めるため、入口付近のエリアなど場所を限定して公園化していくことも併せて検討をお願いいたします。

自主的審議 まとめ方のフロー図



(検討資料) 二貫寺の森の活用に係る前回会議の振り返り

1 地域協議会が考える”目指す状態”

- 二貫寺の森が、いろいろな人に認知されている状態
- 二貫寺の森に、地域外の人も含めたたくさんの方が訪れる状態
- 二貫寺の森で、いつでも人が(遊んで)いる状態

2 (5月19日開催)意見交換会における関係団体の意見(主なもの)

【利用促進-周知】

- ・ 自然観察会に参加できない子どものために、小・中学校の図書室に二貫寺の森の資料(冊子等)を置き、興味を持ってもらってはどうか。
- ・ ギガスクール構想により子どもたちはiPadを持っており、自分で情報を得ることができるため、行ってみたいと思えるようなWebサイトを作ればよいのではないか。
- ・ 認知されるようにするため、入り口の場所を示す大きな看板や、施設のこと(自然環境保全地域であること)が分かるような看板を設置してはどうか。

【利用促進-環境整備】

- ・ 草だらけでは誰も森に入らない。開放期間中は、いつでも森に入れるよう園路が整備(草刈り)されているとよい。
- ・ マナーを守ってキャンプをしたり、自然の中で活動できるような環境(設備や遊具)が確保できれば、子どもや保護者、地域の人にも活用してもらえと思う。
- ・ 貴重な植物や自然を保全しながら利用してもらうには、保護すべきエリアと開発してもよいエリアを分けしながら取り組めばよいのではないか。(二貫寺の森のセールスポイントが必要)
- ・ 一番気になったのは、森が藪化していることである。藪になっては子どもを安心して遊ばせることはできない。
- ・ あまり人が来ないところに、大きな投資はできないと思う。

【利用促進-その他】

- ・ 小・中学校で二貫寺の森に活動に来る際のバス代等を支援する仕組みがあれば、学校の利用が増えるのではないかな。

【環境保全】

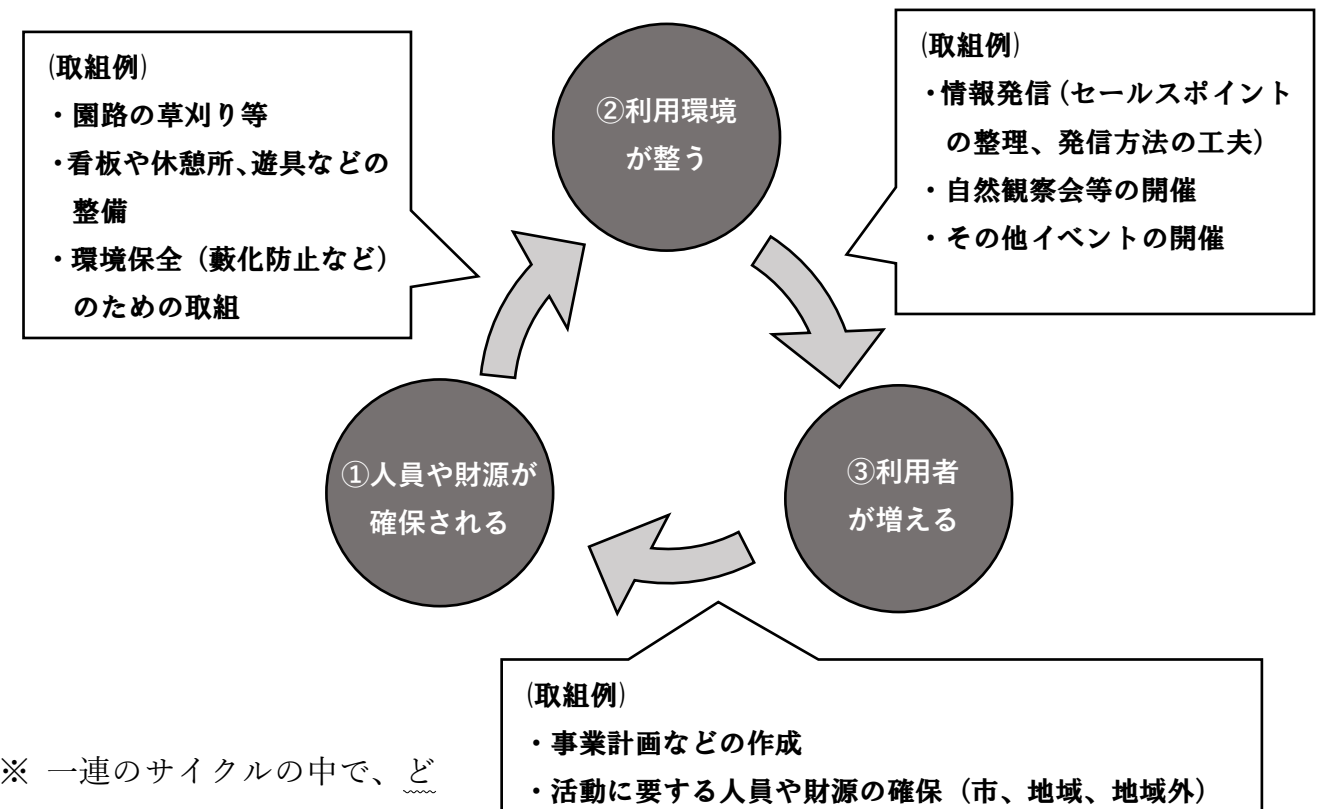
- ・ 森の単純化・藪化が進んできており、貴重な植物や野鳥にとって適さない環境になってきていると思う。手を入れ、活用しながら維持することが理想ではないか。

■ 自主的審議の方向(前回会議で出た意見)

- (課題) 施設の整備
  - ・ 看板の整備(可能であれば看板周辺の整備) ⇒ 森の認知向上/利用者への情報発信
  - ・ 管理棟-広場間の園路のぬかるみ対策
  - ・ 保護するエリア、手を加えてよいエリアを区分し、自然保護と利用促進を両立
- (課題) 実施主体の確保
  - ・ 住民の賛同が得られるか。 ⇒ 協力してほしいことを具体化して地域と話し合う。
  - ・ 実施団体の設置  
(新設または既存団体を位置付け)
- 情報収集、視察・研修等
  - ・ 二貫寺の森に係る予算 … 維持管理を徹底して行った場合に要する経費は?
  - ・ 他の森林施設の管理経費や人員等把握
  - ・ 他の森林施設(大池いこいの森 等)の現地確認

(具体的に)  
 ・ 二貫寺の森をどうしたいか。  
 ・ そのために何に協力してほしいか。

(イメージ) 施設運営の改善サイクル



※ 一連のサイクルの中で、どこから手を付けられるか?

※ 利用者が増加しない状況では、市の予算増額は難しい。 ⇒ 予算増加を抑えながら利用者を増やす取組を考える必要がある。